



# 地域医療連携室だより Vol. 143



だより内に



発行元 地方独立行政法人  
市立大津市民病院 地域医療連携室  
住所 〒520-0804  
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号  
電話 077-526-8192  
FAX 077-522-0192 発行日:2021年4月1日

市立大津市民病院 検索

が5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

## 令和3年度(2021年度)ご挨拶



わかばやし なおき

### 市立大津市民病院 院長：若林 直樹

平素より当院に対し、ひとかたならぬご厚情を賜り、あつく御礼申し上げます。

平成29年(2017年)に地方独立行政法人化した本院ですが、第1期4年を終え、この4月より、第2期の新たな船出となりました。

“信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点”という病院理念のもと、当院の目指す姿は、

- \* 市民に寄り添い、健康をサポートできる病院
- \* 24時間365日、常に安心して受診できる病院
- \* 広域感染症発生時や大規模災害時などに対応できる病院
- \* 患者とともにあり、患者を治し支える病院
- \* 質の高い医療を提供し、地域のニーズに応える病院
- \* 予防から緩和までがんに強い病院

です。

“ウイズコロナ”というこれまで経験したことのない状況は既に1年以上続き、収束に期待されるワクチン接種は始まりますが、変異株や自粛疲れなどの懸念材料もあり、まだまだ先の視えない状況です。このような厳しい状況だからこそ、われわれ職員一同、原点に還り、病院理念をしっかりと胸に刻み、基本方針に掲げている「市民の命を守る病院」、「地域医療を守る病院」という責務をより一層果たして参りたいと存じます。

地域医療機関の先生方と、これまで以上に顔の見える密な連携を築かさせていただきたいと思います。更なる信頼の絆を結び、地域のニーズに応え、地域で完結する治し・支える医療を行っていくことで、市民の皆さま誰もが安心して暮らせる社会の実現に少しでも貢献したいと存じます。

市民の皆さまの『市民病院はいざというときに本当に頼りになるなあ』というお声や地域医療機関の皆さまの『市民病院に紹介して良かった。これからも頼りにしている』というお声を励みに、“市民とともに歩む健康・医療拠点”としての病院づくりに全力で努めてまいりますので、今年度も何卒宜しくお願い申し上げます。



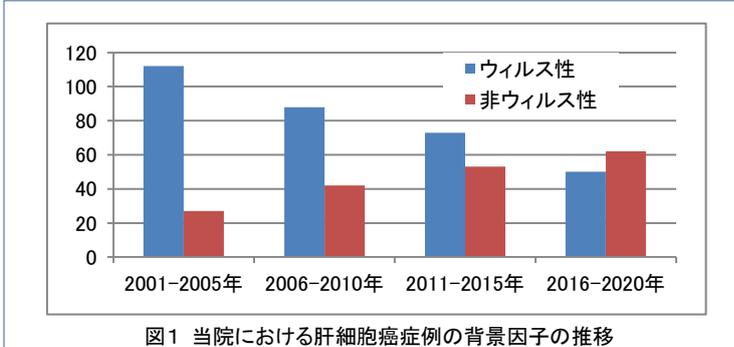


# 当院の脂肪肝診療

## ～腹部エコーで肝の脂肪量、硬さを解析する～

診療局長/消化器内科 診療部長: **高見 史朗** たかみ しろう

脂肪肝の患者さんは増加しています。当院の健診センターでも人間ドックを受けられた受診者の3～4人に1人は脂肪肝と診断されます。脂肪肝の10～20%は「脂肪性肝炎」と言われており、肝線維化の進行により、肝硬変、肝癌へ至るケース



があることが知られています。図1は当院における肝細胞癌症例の背景因子の推移を示しています。非ウイルス性の症例が増加しており、肥満、糖尿病、飲酒などが原因の脂肪肝を背景に持つ患者さんが多いのが現状です。



脂肪肝のうち肝線維化が進行した患者さんを発見し、肝発癌のサーベイランスや治療を行うことが重要です。当院では腹部超音波検査で、肝線維化の程度(肝臓の硬さ)や肝脂肪量の解析を積極的に行っています。当院の検査をご活用いただき、先生方が診療されている脂肪肝患者さんの経過観察や生活指導にお役立ちができればと考えています。

### ～ 脂肪性肝炎の拾い上げ 超音波装置新機能

#### ◆ 肝脂肪量の推定: Attenuation Imaging (ATI)

ATIは肝脂肪量測定のための半定量検査法です。直接脂肪量を測定する訳ではありません。しかし、減衰量を利用し、数値化することで、脂肪量を推定できます。

#### ◆ 肝線維化の推定: Shear wave Elastography (SWE)

SWEは剪断波を発生させ、その伝搬速度を計測することで、肝臓の硬さを評価するものです。肝臓が硬いと伝搬速度が上昇し、こちらも数値化することで客観性が生まれます。



(キヤノンメディカルシステムズ超音波診断装置 Aplio i800)

- ・消化器内科へ御紹介いただければ検査を施行します。
- ・腹部超音波検査のみの予約も可能です。この場合肝硬度測定希望とお知らせ下さい。

超音波検査士: **森 亘平** もり こうへい



超音波検査室スタッフ

脂肪肝に対する治療は生活指導が中心であり、保険収載されている薬物治療はありません。当院では、非アルコール性脂肪性肝炎患者さんを対象とした治験を積極的に行っています。治療に難渋しておられる患者さん、ご興味をお持ちの患者さんがおられましたら、是非消化器内科へご紹介下さい。



# 入退院センターのご紹介

やまもと よしみ  
入退院センター室長: 山本 芳美

入退院センターは2020年4月から、独立体制となり病床管理・入院支援・退院支援を担当しています。入院・退院に関する基本情報と相談業務を一元化し、入院から退院までトータルでサポートを行い患者サービスの向上に努めています。

## 病床管理の紹介

病院全体の空床とベッド稼働状況を把握し、入院患者のベッドコントロールを行う事によって円滑で効率的な病床管理を目指しています。

毎朝、ベッドコントロール会議で病棟管理者から病床利用報告を受け、翌日の予約入院・当日の緊急入院の病床確保を行っており、迅速な入院の受け入れと院内連携のための情報発信部署として役割を發揮できるよう取り組んでいます。

## 入院支援チームの紹介

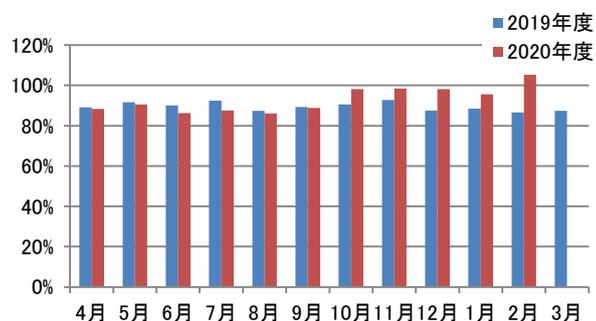
看護師5名・事務員2名で担当しており、毎月300～350人の患者様が来院されています。入院生活に関するオリエンテーション、服用中の薬剤の確認、褥瘡・栄養スクリーニング等を入院前に実施し、病棟スタッフ・退院支援チームと情報共有を行っています。

**\* 入退院センターで周術期外来の予約制(外科・泌尿器科)を開始しました。**

手術を安全に受けていただくため、入院までに専門性を持ったスタッフが情報を共有してリスクを把握・対処するために周術期外来の運用を開始しました。

入院、手術が決定された患者様に看護師面談・薬剤師面談・歯科診察・麻酔科診察・必要時には栄養指導・禁煙指導を受診して頂いています。

入院オーダーに対する来室割合



## 退院支援チームの紹介

2020年11月1日より相談員1名を増員し現在6名で担当しています。

入院支援チームと連携して、計画的に情報を共有し入院前から円滑な退院支援の調整を行っています。また、病棟スタッフ・多職種と情報共有・カンファレンスを定期的に行い退院に向けて必要な支援を行っています。退院支援チーム内でも定期カンファレンス・症例検討会を実施し、相談員同士での意見交換を行いスムーズな退院調整を目指しています。

今後も病床管理と入院支援・退院支援の連携はもちろん多職種と協働し支援の体制強化に向けて取り組んでいきます。



入退院センタースタッフ



# 医師の異動

本年4月より下記の医師が着任しました。ご支援よろしくお願い致します。

法人理事長(産婦人科)	北脇 城	内科	松井 紗央梨	皮膚科	中川 弘己	呼吸器内科	谷口 隆介
外科・消化器外科・乳腺外科	市川 淳	内科	廣坂 雄介	皮膚科	外園 綾華	呼吸器内科	綿部 裕馬
外科・消化器外科・乳腺外科	竹島 潤	内科	竹村 堯拓	感染症科	井藤 英之	消化器内科	高倉 駿
歯科口腔外科	渡邊 翔太	内科	山口 幸代	麻酔科	斉藤 美沙希	整形外科	齋木 大器
脳神経外科	川崎 敏生	小児科	松浦 周	救急診療科	八塩 章弘		

本年3月末をもちまして下記の医師が退職となりました。在職中は大変お世話になりました。

消化器内科	山内 克真	内科	藤井 達也	皮膚科	在田 貴裕	整形外科	松浦 宏貴
歯科口腔外科	弘部 悠	内科	弓削 大貴	皮膚科	岡谷 真希	脳神経外科	安部倉 友
外科・消化器外科・乳腺外科	青山 太郎	内科	吉岡 美穂	救急診療科	小田 隆太郎	脳神経外科	山下 陽生
呼吸器外科	土橋 亮太	外科	植村 泰佑	救急診療科	日野 篤信	放射線科	奥知 左智
呼吸器内科	平井 聡一						



クイズの答え：1 ページ目右下/2 ページ目右上/3 ページ目 右下/4 ページ目 MSW アイコさんタイトル 地域医療連携室/入退院センターより 枠内

※マスクは外して描いています。

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による診察状況

2021年4月1日時点

現在緩和ケア病棟への入院受入及び、緩和ケア病棟への入院・転院を目的とした緩和ケア外来へのご紹介を休止させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 地域医療連携室/入退院センターより

退院調整担当の MSW 吉川です。

コロナ禍で、面談や退院前カンファレンスが思うようにできない中、これまで築いてきた多職種連携の絆に助けられることが多々ありました。今後も一緒に、患者さんの人生の選択に寄り添っていけたらと思います。

同僚の勧めで描き始めた「MSW アイコさん」も、もうすぐ 50 作になります。小さい頃に描いていた「マンガ家になる」という夢を、この年になってこういう形で実現できるとは思いませんでした。

「MSW アイコさん」共々、これからもよろしくお願い致します。

よしかわ まき  
地域医療連携室/入退院センター: 吉川 麻紀

